

建設消防委員会

都市整備部 交通政策課

遠州鉄道鉄道線 鉄道施設耐震対策について

1 趣旨

遠州鉄道鉄道線第一期高架事業区間の耐震対策未実施区間について、鉄道事業者が実施する耐震対策事業に対し、市が補助を行うことで早期の事業完成を図る。

2 背景

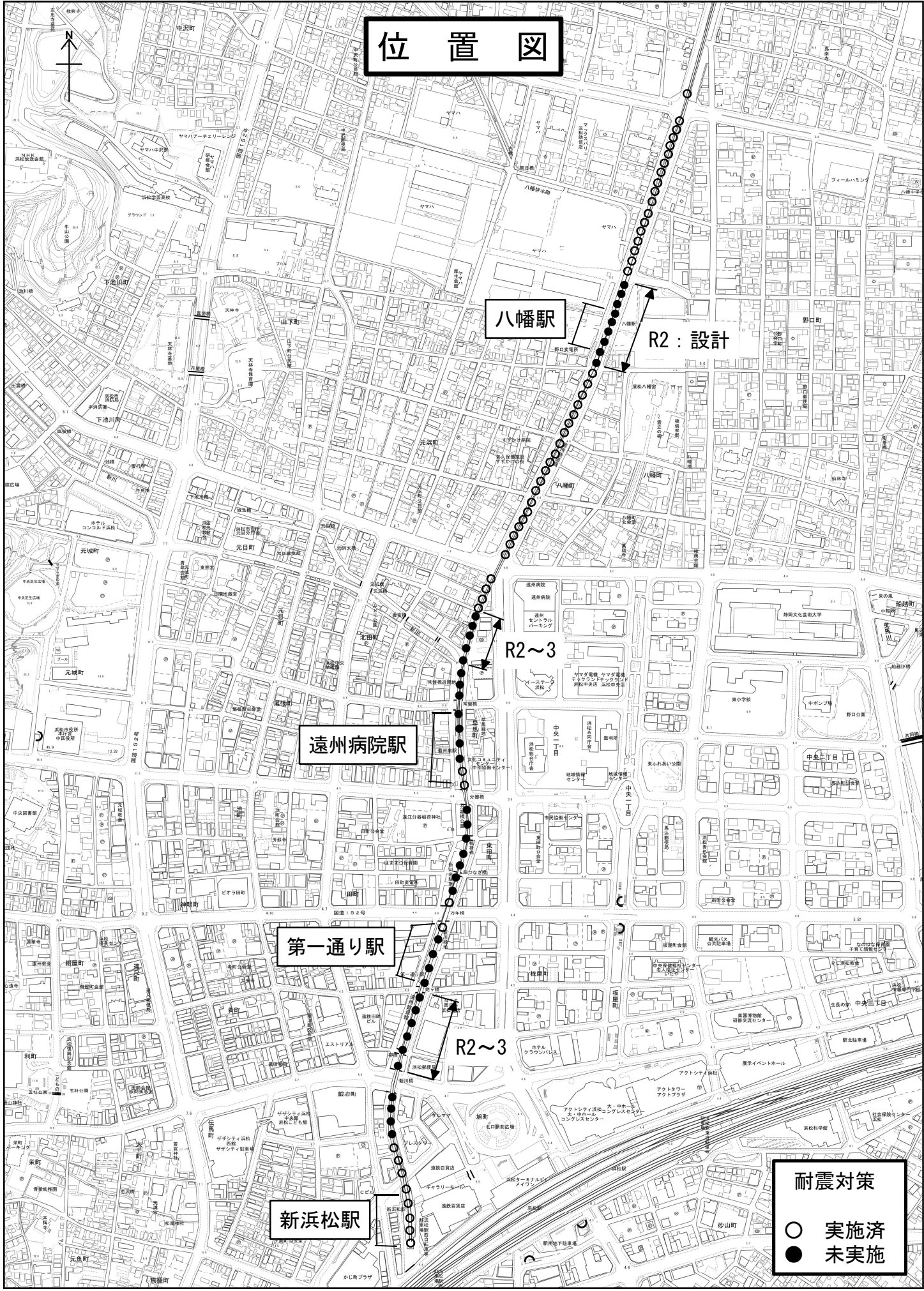
- ・市内唯一の民間地方鉄道である遠州鉄道鉄道線の第一期高架事業区間（L=2.6km 昭和60年度完成）は、現行の耐震基準を満たしていない。
- ・鉄道事業者は、平成22年度から緊急輸送道路と交差する箇所や新浜松駅周辺等については、国庫補助を活用して耐震対策を実施しており、市も国との協調補助により支援してきた。
- ・鉄道事業者は、その他の耐震対策未実施区間について、国庫補助の採択が得られなかったため、鉄道事業者の単独事業として耐震対策を実施してきたが、半分程度が未実施となっている。
- ・南海トラフ巨大地震発生の可能性が高まる中、万一、巨大地震により鉄道施設が倒壊した場合には、大半が市民である鉄道利用者等に対する甚大な被害とともに、都市機能がマヒする恐れがあるため、早期に耐震対策を完成させることが必要である。
- ・市及び鉄道事業者は、国へ補助採択に向けた要望を行ったが、現時点での補助採択は難しい状況である。
- ・コロナ禍における鉄道利用者の減少等に伴い、鉄道事業者単独での早期の耐震対策の完成は困難な状況となった。

3 対応方針

早期に耐震対策を完成させるために、次の通り対応する。

- ・鉄道事業者が実施する耐震対策事業に対し、国の補助採択がされない場合においても補助を行う。
- ・完成目標年次や役割を定めた書面を締結するよう鉄道事業者と調整を図る。

位置図



八幡駅

R2 : 設計

R2~3

遠州病院駅

第一通り駅

R2~3

新浜松駅

耐震対策

- 実施済
- 未実施